低入札価格調査の概要

工 事 名	令和7年度 中央小学校給水設備改修工事		
工 事 箇 所	吉田町立中央小学校		
入 札 年 月 日	令和7年8月7日	入 札 番 号	第42号
予 定 価 格	74,987,000円	入札書比較価格	68,170,000円
入 札 金 額	39,930,000円	落 札 率	58.57%
調査対象業者名	(有)松浦管工	資料提出日	令和7年8月26日

調査内容

資料内容欄には、調査対象業者に提出を求めた「低入札価格調査資料」の内容を抜粋したものである。	
調 査 事 項	資 料 内 容
(1) その価格により入札した理由	<ul style="list-style-type: none"> ・監督業務及び資機材運搬・管理等において事務所倉庫等から工事箇所までの距離等の条件を考慮し、経費の削減が可能であり、又は安全管理において優位である。 ・当該入札に係る工事で使用する資材について、長年の付き合いがある代理店に見積を依頼し低価格での調達が可能である。 ・手持ち建設機械等を活用又は使用するため経費の削減が可能である。 ・自社の作業員による対応が可能である等の経費の削減が可能である。 ・簡易ではあるが、事前調査をして必要最小限の計上とし、経費の削減を図った。 ・上記を踏まえ、最低限の利益を考慮し積算した結果であり、安全で良質な施工を行うことは当然であると了解している。
(2) 手持工事の状況（対象工事現場付近及び関連工事）	なし
(3) 手持工事の状況（施工中の低入札価格調査対象工事、他機関工事も含む）	なし
(4) 契約対象工事と入札者の事務所、倉庫との関係（地理的条件）	(有)松浦管工本社・倉庫（吉田町川尻 688-1） 対象工事箇所までの距離：約 400m 対象工事箇所までの時間：車両 2 分・徒歩 10 分 (有)松浦管工・土砂置場（吉田町片岡 1582-3） 対象工事箇所までの距離：約 1.26 km 対象工事箇所までの時間：車両 4 分・徒歩 22 分
(5) 手持資材の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーシート#3000 3.6×5.4 7 枚 (136.08 m²)

(6) 資材購入先及び購入先と入札者との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・外注
(7) 手持機械数の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・パイプねじ切り機 (15A~80A 用) 1 台 ・バックホウ (0.06 m³・0.14 m³) 各 1 台 ・ダンプトラック (4 t・3 t) 各 1 台 ・バイプロコンパクト (150 kg) 1 台 ・ランマー (80 kg) 1 台 ・プレートコンパクト (60 kg) 1 台 ・コンクリート切断機 (150 kg) 1 台 ・クリーナー (乾湿両用) 3 台 ・コンクリートブレーカ 1 台 ・発動発電機 (2.8kVA) 2 台
(8) 労務者の具体的供給見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・安価となる理由 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の手持ちの工事量を鑑みても本工事に集中できる状況で、自社の作業員の長年にわたる経験があり作業手順等の把握も出来ているので、実働日数の短縮が出来ると考えている。 ・同種工事の実績を有する近隣市町村内の業者と下請契約を締結することにより、作業の効率化及び現場管理費の削減が図られる。 ・自社、及び自社の保有する倉庫等が工事箇所から近く、また工事車両、施工機械を保有しており、賃料がかからない。 ・下請け予定業者は見積りを徴取し、了解している。 ・本工事は優先的に自社従業員を派遣することを検討している。
(9) 過去に施工した公共工事名及び発注者	<p>(令和 5 年度) 2 件 (令和 4 年度) 2 件 (令和 3 年度) 2 件 他 3 件</p>
(10) 下請契約予定者等	<ul style="list-style-type: none"> ・数社予定
(11) 建設副産物の搬出地	<p>CO 塊、AF・CO 塊： 牧之原市内 建設発生土： 牧之原市内 水栓・鋼管： 牧之原市内 舗装切断汚水： 磐田市内</p>

調査結果まとめ

【工事概要】

吉田町立中央小学校給水設備改修工事一式

1期工事：衛生器具設備1式 屋外給水設備1式 屋内給水設備1式 撤去工事1式
直接仮設1式 外構1式

2期工事①：衛生器具設備1式 屋外給水設備1式 屋内給水設備1式 撤去工事1式
直接仮設1式 外構1式

2期工事②：衛生器具設備1式 屋外給水設備1式 屋内給水設備1式 撤去工事1式
直接仮設1式 外構1式

【調査結果】

- ・設計内容については、入札前に現場確認をする等、十分理解しており、実施設計書の仕様及び数量どおりで資材購入業者より見積書を徴取の上、工事費を積算した。
- ・材料費について、資材購入業者との協力体制が整っていることにより、安価に調達することが可能である。
- ・労務費については削減することなく、共通仮設費、現場管理費及び一般管理費において、必要最小限の計上とし、経費の削減を図った。
- ・ダンピングにつながるものは見受けられなかった。

以上の調査結果から、本工事に適合した履行が十分に確保されるものと判断する。